管理者と使用者（運転手）をつなぐコミュニケーションツール「くるまぷり」

コミュニケーションアプリによって、車両管理は生まれ変わる

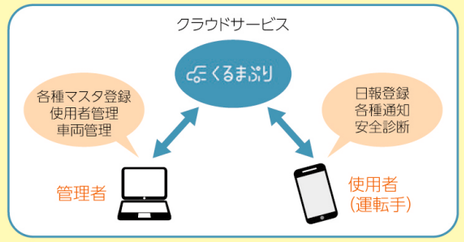
長年、車両管理のプロとして企業を支えてきたキムラユニティー株式会社。企業の声を反映し、独自に開発したアプリ「くるまぷり」は、BPOを前提としたカーマネジメントサービス（CMS）とは一線を画する。「くるまぷり」の活用で、車両管理の効率化と安全性の向上は一気に進む。

管理者と使用者（運転手）をつなぐコミュニケーションツール

車両管理のプロであるキムラユニティー株式会社。一八八一年創業の同社は、歴史も実績も業界内で群を抜いており、企業からの信頼も厚い。BPOサービスで実績を積んできた同社が、〝システム単体の販売をしてほしい〟といったお客さまの声を反映して開発したのが「くるまぷり」である。

既存のCMSは〝BPOサービス〟であるのに対し、「くるまぷり」は、お客さまご自身で車両管理を行うための〝システム〟（図表❶）。「安全・安心・簡単」をコンセプトに、管理者のみなさんには「ヌケモレが発生しやすい煩雑な車両管理業務を、確実かつスムーズにこなすことができるように」、使用者（運転手）のみなさんには「負荷なく楽しみながら安全運転をすることができるように」、そんな想いで開発された。

図表　管理者と使用者のコミュニケーションアプリ「くるまぷり」のサービス全体像



「くるまぷり」の導入により、車両管理は〝本社主導による管理活動〟から〝相互コミュニケーションを主体とした自発的活動〟に生まれ変わる。

さっそく主な機能について紹介していきたい。

かんたん初期設定 データ登録にもスマホを活用

「くるまぷり」は自分たちで使うシステムであることを前述したが、そうなると気がかりなのがシステムへのデータ入力業務だろう。車両管理にはさまざまなデータが必要になるが、「くるまぷり」なら大丈夫。車両情報の入力は驚くほど簡単だ。

実は車検証の下にはQRコードが印字されている。そのQRコードをスマートフォンのカメラ機能で撮影すれば、車検証のデータがシステムに登録されるのだ。運転免許証の登録も同様に、有効期日をカメラで撮影するだけで一発登録。これまで管理者が手入力していた膨大な作業がわずか数分で完了し、「くるまぷり」の使用準備が整う。

「ダッシュボード」で やるべきことの見落としを防ぐ

つぎに「ダッシュボード」機能（画像❶❷）。使用者（運転手）と管理者双方にとって非常に便利なシステムだ。

たとえば車検の期限切れがある場合は赤、期限間近は黄色、そのほかのやるべき作業は白で項目が表示される。つまりToDoリストが、自動的に作成されるわけだ。この「ダッシュボード」に表示された項目に対し、管理者、使用者（運転手）双方が登録作業を行えばいい。また、この「ダッシュボード」では、運転免許証の有効期限管理も行うことができる。チェック作業が多く、管理者を悩ませていた車両管理も、「ダッシュボード」の項目をすべて処理することで、スムーズに作業を完了できる。かなりの労力の削減になる上、入力ミスや見落としなどの人為的ミスも防げる。

テレマティクスとは違い 運転手の特性に合わせた 個別教育も可能に

昨今コスト削減や営業効率向上のため、複数人で車両を共有したり、レンタカーやカーシェアを利用している企業も多いだろう。しかしテレマティクスの場合、車に機器を取り付けなければならず、運転手ごとの正確なデータを取得するのは難しい。「くるまぷり」ならスマートフォンを活用するため、運転手ごとにデータを結び付けることが可能だ。

運転終了時にはその日の運転分析結果が表示され、スマートフォンで感知した、急発進、急ブレーキ、急ハンドルといった危険運転の回数と場所が表示される（画像❸）。運転手が「あの場所で踏んだ急ブレーキだ」と確認ができるため、今後の安全運転への意識向上につながる。また、その挙動データは管理者側のPCで可視化されており、企業全体での傾向だけでなく、部署や運転手ごとの傾向や比較も簡単だ。

ただし、当然データを把握することが目的ではない。そのデータを活用し、運転手個々の意識を向上させ、事故を抑止することが重要だ。とはいえ、細かいスケジュール調整をして交通安全セミナーや集合研修を実施しても、なかなか効果を出すのは難しい。これも管理者が頭を悩ませる課題の一つといえる。「くるまぷり」なら、個々の運転手の運転挙動に合わせた教育コンテンツを自動もしくは手動で配信することも可能。これまでのように手間をかけずに、個々の運転手の特性に合わせた、〝響く〟安全運転教育を行うことができるのだ。

画像❶

画像❹

画像❸

画像❷

万が一の事故発生時も 通知機能でサポート

万が一、事故が起きたときの対処も万全だ。アプリの事故対応画面を開けば、緊急時に電話をする相手を選択でき、さらに事故相手に確認しておくべき必須事項の入力画面が表示されるので、気が動転していても重要なことを聞き漏らす心配がない。事故現場の写真を「くるまぷり」のカメラで撮影でき、これらの情報はすべて管理者にもリアルタイムで通知される（画像❹）。これで、トラブル発生時の対応を迅速に行うことができるわけだ。

管理者と使用者（運転手）を結ぶコミュニケーションツールであり、安全運転につながるキムラユニティーの「くるまぷり」。ぜひ、導入を考えてみてはいかがだろう。

お問い合わせ
東証・名証一部上場
キムラユニティー株式会社
東京支店
東京都中央区日本橋茅場町3-11-10PMO日本橋茅場町11階
《BPO（CMS）専用URL》
http://www.carmanagementservice.com/
月に1度コラムを掲載しています。メルマガ会員も募集中です。
《くるまぷり専用URL》
http://kurumappli.jp/
フリーダイヤル（平日9:00～18:00）
0120-777-151